

拝啓 早や3月下旬となりました。お変わりございませんか。いつもエンカウンターをお読み頂きありがとうございます。もう春がすぐそこまで来ている頃となりました。エンカウンターが着くころには桜の花も咲き始めていることでしょう。

今月は、石館守三先生の文章の6回目です。前回から、同志会の百周年記念事業として同志会OBの村上劉治さんが編纂された資料「石館守三先生金曜会語録」から、同志会と石館基さんの御許可を得て、引用させて頂いております。

3月は、色々と行事が重なりました。

「南原先生の生涯から学ぶ」というような題で、3回も講演に招かれました。3月2日(日)には、名古屋で、名古屋聖書研究会主催の内村鑑三記念講演会で話しました。3月5日(水)には、富山県射水市にある小杉高等学校で、先生方を対象にお話しをしました。小杉高校は、南原先生が内務省時代射水郡長として赴任していた時、設立を準備された学校でした。名古屋の講演会にお招き下さったのは鳥居勇夫、祝子ご夫妻だったと思いますが、日を1週間勘違いされて、名古屋での講演会にご欠席でした。このため、鳥居祝子さんは、3月5日にわざわざ小杉高校での講演を聞きに来て下さいました。3月19日は、40年ほど前国土庁に勤務していた頃同僚だった人たちが作っている国土会という会で話させて頂きました。

3月11日には、渋谷の観世能楽堂で、新作能「パウロの回心」と文楽「イエス・キリストの生涯」を見ました。妻から誘われて、それほど期待もしないで見に行ったのですが、能「パウロの回心」は、大変感銘を受けました。使徒行伝のダマスコ場外でのパウロの回心の場面―イエスとの出会い、アナニアとの出会い―を1時間20分の舞台で表現していましたが、象徴的な動作で重要なメッセージを表現する能、ひいては日本の伝統芸術の深さを感じました。

3月15日(土)には、私の建設省時代の先輩の浪岡洋一さんの奥様律子さんの納骨式が、森林公園近くの霊園であり、その後昼食会が近くのヘリテージ・ホテルでありました。昼食を頂いた部屋は12階にあり、奥武蔵、武甲山、浅間山、妙義山、野尻湖周辺の山、谷川連峰、赤城山、日光男体山などがよく見える展望の素晴らしい部屋でした。その部屋で、天皇陛下・皇后陛下、皇太子殿下なども食事をされたそうです。食事の後で、私が用意した歌集により、浪岡さん夫妻がお好きだった童謡唱歌、軍歌などを歌いました。

それでは、皆様、もうすぐ暖かい春がやって参ります。お身体ご自愛の程、
祈り申し上げます。

敬具

平成26年3月24日

山口周三

エンカウターの読者各位